

泥に苦戦し田植え 親子130人が作業体験

神戸町



田植えを楽しむ親子ら＝神戸町横井

り上げた。稲刈りは10月10日前後を予定している。
(佐名妙予)

回転ずし店などを展開する外食チェーン「アトム」(名古屋市中区)とJA全農岐阜、JAにしみの、神戸町の営農組合が共同で企画した「田植え体験会」が7日、同町横井の田んぼであり、県内外の親子約130人が泥に苦戦しながら作業を楽しんだ。

アトムの店舗では、県産の米を使用。体験会は食育の一環で、同社の利用客を対象に、これまでも羽島市や同町で行っている。ほ場の提供や田植え指導は同町横井の営農組合「よこいファーム」が協力した。

参加。泥に足をとられながらも、丁寧に手植えをした。田植え機の乗車体験もあり、児童は手植えと機械作業の両方を学んだ。

「ぎふの米」イメージキャラクター「ぎふマイの里」や「清流の国ぎふ」マスコットキャラクターのミナモトも参加し、イベントを盛り上げた。

アトムの店舗では、県産の米を使用。体験会は食育の一環で、同社の利用客を対象に、これまでも羽島市や同町で行っている。ほ場の提供や田植え指導は同町横井の営農組合「よこいファーム」が協力した。

愛知県や三重県のアトムの利用客と同町の神戸、北の2小学校の親子ら総勢130人が